

# 設立趣旨書

## 1 趣旨

西国三十三所巡礼は奈良時代に始まり江戸中期から本格化、近代に至るまで数多くの人々が徒歩による札所巡りをしてきたが、車社会になった現代ではバスツアーが主流になっている。

四国八十八ヶ所は、古道が整備されているので年間数千人の徒歩遍路で賑わっている一方、西国三十三所古道は、世界遺産に登録された熊野古道など一部を除いて大部分の古道に道しるべがなく、滅多に人が通らない山道は荒廃している。

したがって現状、徒歩による札所巡りは殆どお寺の関係者に限られており、一般の人が古道を歩いて巡るのはかなり難しい状況にある。

ついでに西国古道の要所要所に道しるべを設置し、山道の草刈など環境整備をすれば、青少年から中高年まで多くの人々が古道を歩けるようになる。

また、名所旧跡、神社仏閣の解説及び宿泊施設の明細付ガイドブックの発行やインターネットのサポートによって、文化遺産を学び自然に親しみつつ、西国三十三所古道を歩くことで万人の健康増進、環境保全及び社会教育に寄与することを目的とする。

## 2 申請に至るまでの経過

平成15年6月から平成16年12月まで12回に分け、西国三十三所古道を歩く法灯リレーが、西国三十三所札所会主催で実施された。それには関東、関西の各方面から大勢の人が参加し素晴らしい古道を満喫した。

西国古道を歩いて感動した参加者の有志が、西国も四国八十八ヶ所古道のように老若男女誰でもが歩けるような環境づくりをして、健全な社会を醸成する一助にしたいとの機運が日を追って次第に高まってきた。

西国三十三所古道は2府5県にまたがり、その長さは1000キロメートルに及んでいる。長距離にわたる古道を復活整備するには、広範囲かつ多方面の人々の理解と支援協力を得ながら、長期間にわたる粘り強い活動が要請される。

この活動を長期、継続的に行うため、すべての活動を公開して、広く賛同を得るべく特定非営利活動法人設立の申請に至った。